

舗装個別施設計画

令和8年3月

南部町

目次

1	舗装の現状と課題.....	1
1.1	管理道路の現状.....	1
1.2	舗装修繕予算の現状.....	1
1.3	舗装の現状	2
2	舗装の維持管理の基本的な考え方	3
2.1	舗装管理の基本方針.....	3
2.2	管理道路の分類（グループ分け）	3
2.3	管理基準.....	3
2.4	点検方法・点検頻度.....	3
2.5	使用目標年数.....	3
3	計画期間	4
3.1	計画期間.....	4
4	舗装の状態、対策内容、実施時期	4
4.1	診断結果.....	4
4.2	対策の優先順位（修繕計画の方針）	4

1 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

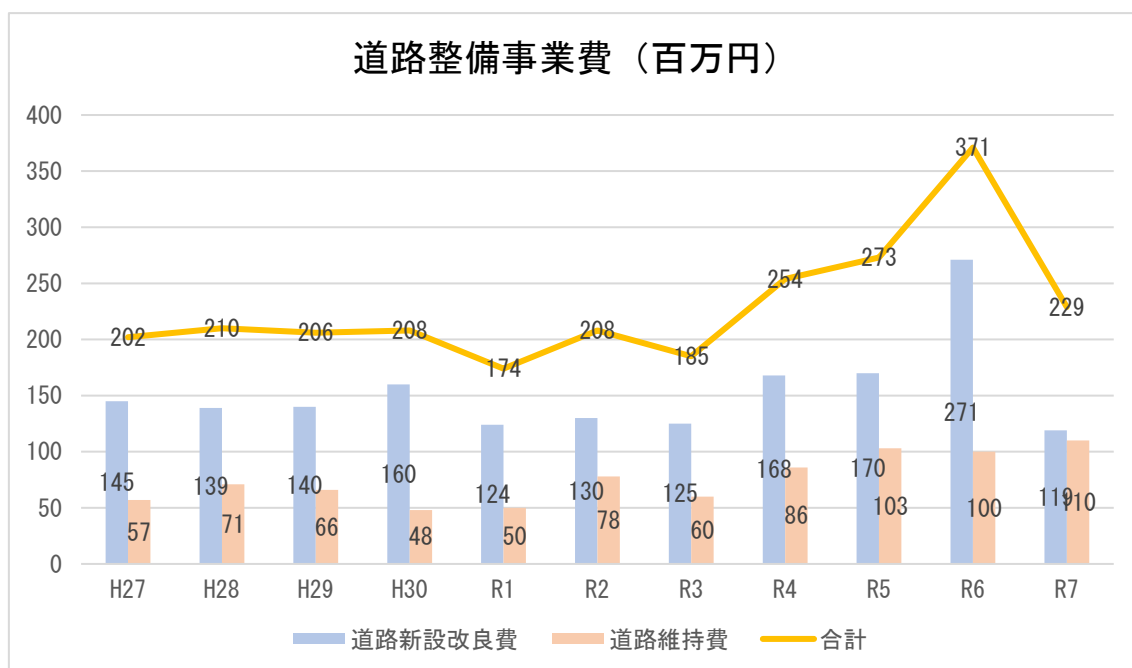
管理延長と舗装延長（令和 8 年 3 月現在）

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1 級町道	51.5km	50.6km	0.7km	99.7%
2 級町道	37.3km	34.7km	0.2km	93.5%
その他の町道	157.4km	143.9km	3.7km	93.8%
計	246.2km	229.2km	4.6km	95.0%

※As 舗装に簡易舗装も含まれる

1.2 舗装修繕予算の現状

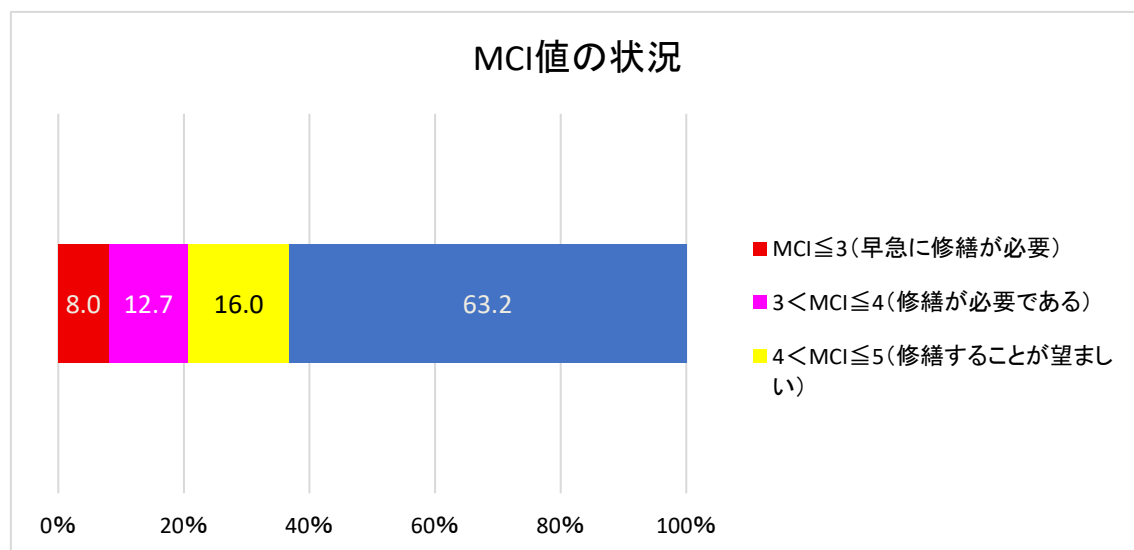
以下に直近 11 年の道路整備事業費（内訳：道路新設改良費、道路維持費）の推移を示す。
舗装修繕に充てられる道路維持費は、年間 5,000 万円～1 億円程度で推移している。



1.3 舗装の現状

令和6年度、令和7年度に実施した路面性状調査では、南部町が管理する1級、2級、その他の町道の延長L=246.2kmのうち、調査可能なL=217.2kmで調査を実施している。

修繕が必要と判断される損傷の著しい区間（MCI値4未満の区間）は全体の20.7%を占めており、該当区間を優先的に修繕する必要がある。



2 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

当該個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持管理費のライフサイクルコスト削減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

分類	対象道路
分類 C の道路	1 級町道、2 級町道 その他の町道のうち 2 車線以上の路線
分類 D の道路	上記以外の路線

2.3 管理基準

MCI 値	評価	診断結果	
5 < MCI 値	望ましい管理基準	区分Ⅰ（健全）	
4 < MCI 値 ≤ 5	修繕することが望ましい	区分Ⅱ（表層機能保持段階）	
3 < MCI 値 ≤ 4	修繕が必要である		
MCI 値 ≤ 3	早急に修繕が必要	区分Ⅲ（修繕段階）	

※診断結果の着色は町独自の舗装管理システム上でのイメージ色

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類 C の道路	路面性状調査	5 年に 1 度
	巡視による目視点検	随時
分類 D の道路	巡視による目視点検	随時

2.5 使用目標年数

過去の修繕実績等を踏まえ、分類 C の道路は 15 年とする

過去の修繕実績等を踏まえ、分類 D の道路は 35 年とする

3 計画期間

3.1 計画期間

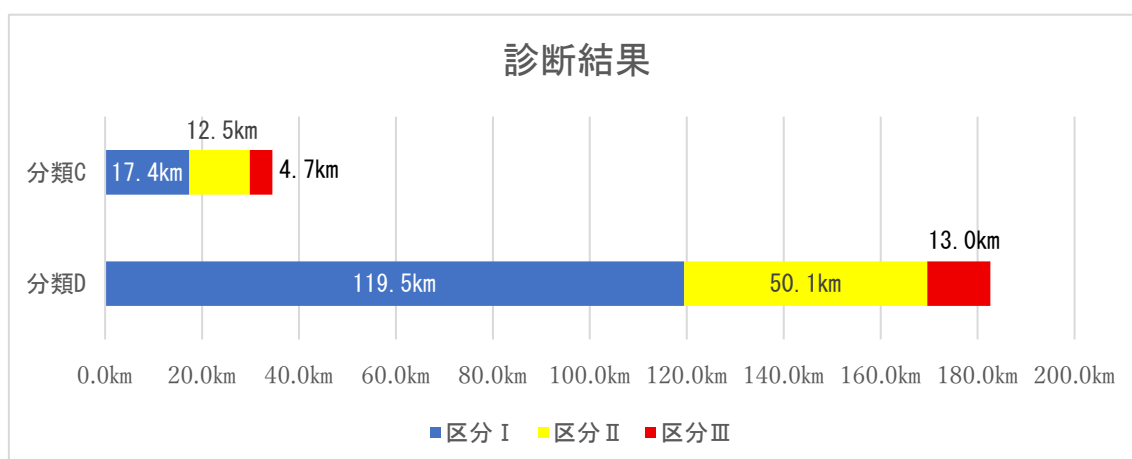
当該個別施設計画の計画期間は、5 年とする。

4 舗装の状態、対策内容

4.1 診断結果

令和 6 年度及び令和 7 年度に点検した L=217.2km の診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	計
分類 C	17.4 km	12.5 km	4.7 km	34.5 km
分類 D	119.5 km	50.1 km	13.0 km	182.6 km
計	136.9 km	62.6 km	17.7 km	217.2 km



4.2 対策の優先順位（修繕計画の方針）

- ・ 損傷状況、路線の重要性等を考慮し修繕の優先順位を決定する。
- ・ 決定にあたっては、管理基準（MCI 値）及び巡視等による現地確認を基に総合的に判断する。